

！こんなサンプルお任せあれ！

皆さまよりご相談いただいたものの中から、
当社の対応実績をご紹介します。

Case1



金属腐食性があって試験を断られてしまったのですが・・・

材質を変更してご対応します！

消防法危険物第4類確認試験でも用いられるタグ密閉式引火点試験では、
通常黄銅製の試料カップを使用するため、**酸性度の高いサンプル**や
金属腐食性のあるサンプルでは試料カップを腐食してしまうため
試験が困難になります。

当社では**ガラスカップ**を代用することで対応可能となります。
また、クリーブランド開放式引火点試験でも同様の対応実績が
ございますので、お困りの方は是非ご相談ください。

※ガラスカップの使用は消防法上の判定には支障ございませんのでご安心ください。
※サンプルの性状によって別途他部材等の費用を頂戴する場合がございます。



タグ密閉式引火点試験装置

Case2



大気中で有毒なガスを発生してしまうのですが・・・

試験場所を変更してご対応します！

通常は不活性ガス雰囲気下で扱っており大気開放した途端にガスを
発生してしまうサンプルにも関わらず、危険性を把握するために
大気下で試験をしなければならない状況は多々あります。

当社では**試験場所を変更**することで、通常の実験室では対応が難しい
試験も対応可能となる場合がございます。

※対応事例：引火点試験、小ガス炎着火試験、粉じん爆発試験など

※温度や湿度のコントロールはできず、成り行きとなります。

※試験場費用等を別途頂戴いたします。



試験場一例

Case3



加熱すると、ちょっと・・・

加熱時の挙動を確認してご対応します！

当社で扱う危険性評価試験の多くは加熱を伴いますが、
加熱による危険性がわからないまたは**危険性が高くなる**ために
試験のご依頼を遠慮されるお客様も多くいらっしゃいました。

当社では**事前に加熱時の状況を確認**することで、
試験を安全に行い正しい評価結果をご報告させていただきます。

※対応事例：熱分析試験（SC-DSC、TG-DTA）やその他予備試験による挙動確認



熱分析試験装置 (SC-DSC)

日本カーリット株式会社
営業本部 受託評価部

〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10
TEL：03-6685-2025 FAX：03-6685-2050
E-mail：jciyutaku@carlit.co.jp